

後三年合戦みさとプロジェクト 実行委員会が発足しました

6月23日に中央ふれあい館で後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会の設立総会が開かれました。設立総会には、町内外から60名が参加して、会長に加藤義男さんを選任し、事業計画を決めました。本年度は、後三年合戦関連史跡等の現地研修や、町内に残る清原氏の歴史・伝承の勉強会を行いながら、啓蒙を図ります。

現在、新規会員を募集しています。入会を希望する方は年会費（500円）を添えて美郷町学友館（☎0187-84-4040）までお申し込みください。



美郷産の美味しい牛肉に舌鼓 美郷町べごっこまつり

7月1日に大台野広場イベント棟で美郷町べごっこまつりが開催されました。

美郷産牛肉販売会には朝から長蛇の列ができ、会場に設けられた焼肉コーナーには多くの家族連れが集まって賑わいを見せました。畑屋うさぎ共励会やうさぎレース、奥羽真昼太鼓演奏などの様々なイベントも行われ、普段は触れ合う機会の少なくなったうさぎに触れた子どもたちは大興奮して楽しんでいる様子でした。



広がる香りと見渡す限りの壮大な景色 美郷町ラベンダー園

6月30日から7月16日にかけて美郷町ラベンダー園が開園し、延べ38,500人が訪れ、辺り一面に咲き誇る紫や白のラベンダーを楽しみました。期間中はラベンダーの摘み取りを行う観光客や園内を運行するこぐまちゃん号に乗る子どもたちなどで賑わいました。

ラベンダー募金へのご協力 ありがとうございました

期間中に実施したラベンダー募金には42,488円のご協力をいただきました。募金はラベンダーの維持管理に活用させていただきます。



心の美の祭典 美郷町在京六郷会

7月1日に東京都内の会場で「美郷町在京六郷会総会・懇親会」が盛大に開催されました。

今年のテーマは、『まだまだ えぐどお〜 六郷衆 「六郷」 総集編 & 「美郷」 でも がんばるべえ〜』。総会では、今年6月に開催された仙南ふる里会総会に続き、関東圏の三つのふるさと会が統合することについて、承認されました。懇親会では、在京六郷会30年の歴史スライドショーが上映されるなど、これまでの歴史を振り返りながら再会を喜び合い、思い出話に花を咲かせて楽しいひとときを過ごしました。



美郷が支える認知症 認知症サポーター養成講座

7月19日に六郷高校で認知症サポーター養成講座が開催され、同校の1年生98名が受講しました。この講座は全国キャラバン・メイト連絡協議会が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」の運動の一環で、認知症に対する正しい知識を身に付けたサポーターを増やし、地域全体で認知症の方やその家族を支えていこうとする取り組みです。当日は、町福祉保健課職員が講師となり、認知症に関する講義やDVD上映、グループワークを行いました。参加した生徒からは「認知症に対する偏見を無くし、困っている人がいたら手を差し伸べてあげたい」という意見が出されました。



もう一つの『心ひとつ』に

美郷町長 松田知己

風

町と若い世代との意見交換会で、あいさつを述べる松田町長

できるだけ批判はしない信条で過ごしてきましたが、最近の国政を見るにつけ、それが揺らぎます。一体、今の国政はなんでしょうか。大震災からの復興、原発事故の安全な収束、危機的状況の経済や国際信用度の回復を優先させなければならぬ時に。マニフェストにあるなしでなく、自己保身のためでもなく、政権維持や奪取のためでもなく、もっと国と国民の未来のために高い識見を活かした思慮と行動を取ってもらいたいものです。多様な意見を認め、批判で終わ

らず対案も示し、議論の上で妥協もし、「心ひとつ」に決めるべきを決め、国をしっかりとした未来に導いてもらいたいものです。

一方、そんな状況の国政を尻目に、この度は美郷中学生が魅せてくれました。先の地区大会での活躍には目を見張りました。とりわけ野球部は再試合を制しての優勝。すばらしかったです。すべての部活動が統合後2ヶ月での大会。優勝したしなに関わらず、大会に臨んだことで得た成果を残したことは、ひとえに「心ひとつ」の意識のおかげだろうと思います。心を合わせれば一定の成果は残せる、そしてそれは必ず次に繋がる。私はそう思います。

さて、町でもそんな想いを持って取り組んできたことが、先

週、成就しました。首都圏の在京会、ふるさと会の統合です。町では中学校の統合を見据え、いづれ誕生する美郷中学校卒業生の首都圏の受け皿として各会の統合を提案してきました。そして各会選出の検討委員から練っていたいただいた統合案が、この度、すべての会で承認されました。改めて関係各位に心から感謝を申し上げます。結果、首都圏においてももう一つの「心ひとつ」が誕生します。来年度の第1回総会は大変と存じますが、子供たちの未来のため、首都圏のみならず在町の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

世の中、大体は「話せば分かる」ことです。しかし、話し合う目的を真に共有しなければ、何を話しても不毛の対立のみが残ります。国政はさておき、町政においては改めて肝に銘じたいと思います。さて、気持ちを引き締めたところで、私もこれから話し合います。きつと分かってくるはずですが、原稿を書き終えたので「今日は飲み放題コース」ということを…。